

会 議 録 ( 概 要 )

会議の名称	第3回 佐渡市地方創生総合戦略策定・推進会議
開催日時	平成27年7月3日(金) 14時00分 開会 15時40分 閉会
場所	金井コミュニティセンター ホール
議題	<p>会議次第</p> <p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 佐渡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(仮称)(素案)について</p> <p>(2) 佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略(原案)に対するご意見について</p> <p>(3) 意見交換</p> <p>(4) その他</p> <p>3 閉会</p>
会議の公開・非公開	非公開
出席者	別紙出席者名簿のとおり
会議資料	<p>資料 1 佐渡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(仮称)(素案)</p> <p>資料 2 佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略(原案)</p> <p>(その他非公開資料あり)</p>

会議の概要（発言の要旨）

発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果 等
事務局	<p>2 議 題</p> <p>(1) 佐渡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（仮称）(素案)について</p> <p>(2) 佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（原案）について</p> <p>議題(1)及び(2)について、資料 1 及び資料 2 に基づき一括説明</p> <p>(3) 意見交換</p>
加藤（佐渡観光協会）	<p>両津港及び小木港を賑わい空間として整備してもらいたい。 具体的には駐車場の整備やくつろぎや賑わいのスペースとしての整備をお願いしたい。 また、幹線道路等の整備も必要である。 佐渡一周線には観光バスが通れない道路があり、解消する必要がある。基本目標 2 の取組に加えてもらいたい。</p>
大倉（佐渡漁協）	<p>戦略に記載するだけでなく、着実に実施し検証することが、佐渡の将来にとって必要なことである。 また、戦略には教育の必要性が記載されているが、そのとおりだと思ふ。</p>
廣瀬（青年会議所）	<p>「新規就農里親制度」、「佐渡版個別所得補償制度」、「ファミリーサポートセンター」といった用語が分かりにくい。 原案を ICT に精通している方や IT 企業を営んでいる方等に読んでいただき、意見をいただいた。意見を参考に、原案の修正案を作成した。 本日、首相官邸が作成した資料を持参したが、資料中に「IT は地方が抱える課題解決に有効な手段」と書かれており、国も IT の活用を推進している。 また、総務省が作成した資料を基に説明するが、観光面での ICT 活用であるが、訪日外国人の利便性を高めるには、スマートフォンやタブレット端末等への観光情報提供を円滑に行うこととされている。</p>

丸山（第四銀行）	<p>3ページ（基本的な考え方）において、新しい雇用の創出について記載されているが、それには時間もかかることであり、それまでの間は既存企業の充実も必要であり、その旨を記載してはどうか。</p> <p>10ページ（基本的方向）において、担い手の減少について記載されているが、当然のことながら（担い手の）確保が必要なのであり、その旨の記載が必要と思う。</p> <p>それから、銀行業界について説明するが、情報面を重視しており、例えばこの戦略原案5ページのプロモーション活動、新規起業、6次産業化の促進等に力を入れており、市の担当課と連携して進めていきたい。</p> <p>例えば、市が把握している「起業はしたいが金融機関への相談について悩んでいる方」の情報を提供していただければ、計画を立てる段階から関わるができる。経営は厳しいものであり、計画をどのように立てるかは重要である。</p> <p>また、創業後5年以内に倒産する企業も多く、そうした事態にならないように起業後のモニタリングにも力を入れている。</p>
橋本（美）（両津の未来を考える会）	<p>基本方針で「心の豊かさ」を目指すとしているが、どのようにして豊かな心を育てていくかが重要である。「保育料無料化」等の金銭面だけではなく、「子どもは宝」として、大切に育てて行って欲しい。「佐渡には素晴らしいものがある」と子ども達に知ってもらえるようにして欲しい。</p>
加賀（佐渡小中学校PTA 連合会）	<p>子どもが減少しているひとつの理由として、収入が減少している、家のローン等があったりすると、金銭面で大変な面があるものと思う。</p> <p>また、佐渡から離れた学生や若者達が何故戻って来ないのか？それは自分が学んだことが佐渡では活かせない、佐渡には受皿が無いのが原因ではないだろうか。今の時代に合った企業が必要なのではないか。</p>
橋口（佐渡マスターズ）	<p>先週、法政大学の田中総長が講演で、「佐渡では学ぶことが沢山あるが、学ぶ仕組みがない。」「移住者を受け入れる仕組みがない。」と指摘していたが、自分もそのように感じている。</p> <p>佐渡の魅力伝える仕組み、組織が必要なのではないか。</p> <p>また、移住者のフォローアップ体制が必要と考えており、自分も佐渡マスターズを設立した。</p> <p>フォローアップ、サポートという面からは、港や佐渡汽船の船内</p>

<p>橋本（舞）(子ども子育て会議)</p>	<p>にサポートセンターがあればよいと思う。24 時間のバックアップ体制も必要。</p> <p>最近、移住相談者の年齢構成も変わってきており、20～40 代が4分の3を占めている。それに対する対応策も必要である。I ターンを希望する方が増えているということも考慮しなければならない。</p> <p>原案の定住施策のPR・情報提供手段として、情報誌「シマイル」の発行となっており、年に2回、各10万部発行とあるが、これまでこの雑誌の費用対効果はどうなっているのか。しかも今はインターネットで情報を得る時代である。インターネットであれば、月に何回も情報提供できる。</p> <p>「シマイル」よりもフェイスブックでの情報提供の方が役に立つ。</p> <p>「心の豊かさ」、「人と人がつながる地域づくり」とあるが、一方では、保育園や小学校の統合がある。どこで、人と人がつながることができるのか。</p> <p>ふるさとへの愛着とあるが、どのようにして愛着を持たせるのが重要。佐渡でしかできないこと、佐渡の学校でしかできないこと、例えば、アースセレブレーションで学生にガイドをしてもらうことでもよいのではないか。</p>
<p>佐々木（稔）(佐渡地域振興局)</p>	<p>本日の新聞記事に「総合戦略策定」とあったが、どのような事情か。</p> <p>人口ビジョンでは、社会減を5年毎に50%減としているが、かなり急激なペースだと思う。</p> <p>教育について、一番お金がかかるのは、大学のとこだと思うがその点はどのように考えているのか。</p> <p>14 ページの KPI 佐渡産材利用新築戸数「4戸 5戸」となっているが、木材生産量の増加率に比較して戸数の増加率が低いのでは。</p>
<p>池町総合政策監</p>	<p>新聞記事についてだが、先日議員全員協議会の場で、本日の推進会議と同様の原案を示した。マスコミにも公開しており、その流れで本日の記事になったものと思う。あくまでも現時点では、原案であり、最終的には、7月31日の推進会議の終了後に、正式に策定されることとなる。</p>

<p>柴原( 中小企業家同友会佐渡支部 )</p>	<p>最近、学生のものづくり研修では、中学生の希望もあり、非常に喜ばしいことと感じている。将来が楽しみである。</p> <p>佐渡産業創造塾のものづくりの取組がある。佐渡の若者が佐渡の将来に危機感をもって真剣に取り組んでいると思う。人材育成の面からも非常に希望がもてる。これを記載すべきである。</p> <p>また、企業と学校との間で勉強会等があればよいと思う。</p> <p>それから、佐渡航路のことであるが、小木航路も欠航になりやすいと思われる。欠航が多いと佐渡のイメージダウンになる。早急に検討が必要。やはり、佐渡の将来を真剣に考えるのであれば、飛行機が必要である。</p>
<p>佐々木( 隆 )副座長( 佐渡森林組合 )</p>	<p>林業についての記載があるのはありがたい。</p> <p>その他気づいたことであるが、道路、港湾、河川等の老朽化対策の記載が必要に思われる。</p> <p>また、親子が集える場所の整備も必要と思われる。</p> <p>人口減少を食い止めるには、非常に難しいことではあるが、「人づくり」が必要と考える。いろいろな体験ができる場所の整備が必要である。</p>
<p>池田座長 ( 新潟大学 )</p>	<p>心の豊かさに関連して、26 ページにふるさとへの愛着を持った将来の佐渡を担う子どもの育成とあるが、そこに「佐渡学」のことも追記してもよいのではないか。</p> <p>また、先ほど第四銀行の丸山支店長から、金融機関の創業支援等提案があった。16 ページには「産官学連携」とあるが、「産官学金連携」とするのがよいのではないか。</p> <p>それから、「おもてなし」についてであるが、佐渡での「おもてなし」だけではなく、佐渡汽船ターミナルでの「おもてなし」も重要である。例えば、新潟港ターミナルの「海運資料館」は何十年間内容が全く変わっていない。佐渡の導入口として、活用・改善を考えてもらいたい。</p> <p>また、3 資産を総括した窓口等が必要である。</p>
<p>事務局</p>	<p>さきほどあった質疑について回答する。</p> <p>社会減の減少率については、いくつかのパターンを想定したが、庁内協議等により、「5 年毎 50% 縮小」とした。</p> <p>また、大学時の教育費に関する記述については、改めて検討する。</p> <p>佐渡産材利用新築戸数の指標については、改めて検討する。</p>

池田座長	その他質疑等があればお願いします。
廣瀬	<p>20～40代の方が佐渡に移住して食べていくことのできる産業、例えば島の資源を活用した農業とICTを活用した販売等に力を入れなければならないと思う。</p> <p>将来佐渡で暮らしたいと思っている小中高生に佐渡で働くにはこのようなスキルが必要などと方向性を示すことが必要である。</p>
橋口	<p>移住政策は産業政策と一体である。人口の数値目標はあるが、どのような人達が住んでいるかが描ければありがたい。</p>
池田座長	<p>それでは質疑等はこれで終了とする。本日の会議では、総合戦略に追加記載等が必要な項目もあったと思われる。総括を事務局お願いします。</p>
池町総合政策監	<p>それでは、いただいたご意見等の総括と対応等について説明する。</p> <p>両津港、小木港等の賑わい空間としての整備や幹線道路等の整備（加藤氏意見） 戦略に追記する。</p> <p>戦略の着実な実施が重要（大倉氏意見） 来年度の佐渡市の予算は、総合戦略に沿ったものとするので実施したい。</p> <p>原案の修正案（ICT 関連）（廣瀬氏意見） 基本的にはいただいた提案のとおり修正したい。</p> <p>用語の解説を。（廣瀬氏意見） 用語の解説を設けるようにしたい。</p> <p>新たな雇用だけではなく、既存の企業の充実を。（丸山氏意見） そのように記載する。</p> <p>担い手確保について喫緊の課題である旨の記載を。（丸山氏意見） そのように記載する。</p> <p>心の豊かさについて十分な記載がないのでは。（橋本（美）氏意見） ご指摘のとおり、助成制度や施設整備の記載が中心となっている。総合教育会議の大綱策定も始まるので、それと連動する形で心の豊かさについて記載することとしたい。</p> <p>移住について抜本的な対策を。（橋口氏意見） まずは「移住コンシェルジュ」にワンストップ機能を持たせ、進めていきたい。</p> <p>「佐渡に愛着」具体的にどうするか（橋本（舞）氏意見） 先日の総合教育会議では、各委員からキャリア教育に関する問題提起がされていた。原案の記載内容で良いのか教育委員会と協議する。</p> <p>佐渡産業創造塾についての記載を。（柴原氏意見） しっかり進め</p>

<p>池田座長 事務局</p>	<p>ていく旨を記載したい。  飛行機（空港）の重要性（柴原氏意見） 戦略には記載している。  道路、河川、港湾等社会資本の老朽化対策（佐々木（隆）副座長意見） 安全・安心の項目では、公共施設の管理しか記載しておらず、社会資本の維持管理についても記載する。  佐渡学に関する記載（池田座長意見） 追記することとしたい。  金融機関との連携に関する記載（池田座長意見） 追記することとしたい。  佐渡汽船ターミナルでの「おもてなし」について（池田座長意見） 両津港・小木港等の賑わい空間の整備と併せて記載したい。</p> <p>いただいたご意見等については、基本的に総合戦略に反映させたいと考えているが、個別具体的な項目の中には記載することが難しいものもあるので、ご了解いただきたい。</p> <p>次回の日程等事務連絡を。</p> <p>次回会議は7月31日（金）14:00からの開催としたい。</p> <p>3 閉会</p>
<p>その他</p>	